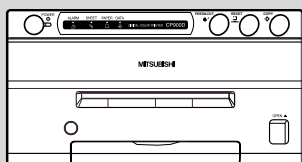
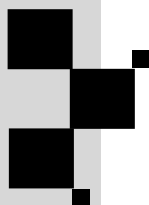
MITSUBISHI

三菱デジタルカラープリンタ

形名

CP900D
取扱説明書

このたびは三菱デジタルカラープリンタを
お買い上げいただきありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。
万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき
きっとお役にたちます。

DIGITAL COLOR PRINTER

特長

主な特長

目的に応じて 2 種類の用紙サイズに対応

Ｌサイズ(110 x 162 mm) とＳサイズ(110 x 105 mm) の2種類の用紙サイズが選べます。

高速プリント

プリントペーパーにはロール紙を採用し、給紙、排紙の時間を大幅に削減することにより、Ｓサイズで約12秒の超高速でプリントすることができます。

大量プリント

１ロールあたりのプリント枚数はＳサイズで200枚ですので、ペーパー、インクシートの交換頻度が大幅に減り、非常に効率的です。

高画質プリントを実現

画像の再現性に優れた昇華染料熱転写方式でYMC各色256階調約1670万色のフルカラー高精細プリントが可能です。

325PPIの高解像度

画像データを鮮明に再現する325PPI (Pixel Per Inch)の高解像度を実現。緻密なイラストレーションや写真画像も驚くほどシャープに美しくプリントします。

ＩＣチップを搭載したインクシートロールによる独自の色画像調整システム

インクカセットにＩＣをセットすることにより、インクシートの残量を表示することができます。また、プリントされた画像の色のバラツキをおさえることができます。

もくじ

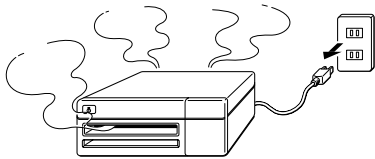
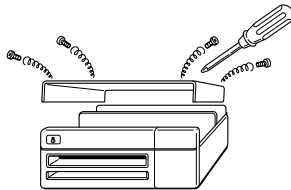
安全のために必ず守ること

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■ 図記号の意味は次のとおりです。

	絶対に行わないでください		絶対に分解・修理はしないでください		絶対に触れないでください
	絶対に水にぬらさないでください		絶対にぬれた手で触れないでください		必ずアース線を取り付けてください
	必ず指示に従い、行ってください		必ず電源プラグをコンセントから抜いてください		

製品のイラストは参考例ですので、お買い上げの機種により、形状が異なる場合があります。
また、お買い上げの機種には、該当しない説明も含まれています。

警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

プラグを抜く

煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!

使用禁止

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理をご依頼ください。

キャビネット(天板)をはずしたり、改造しない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

警告

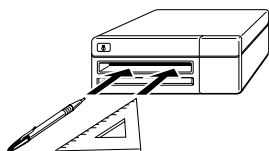
不安定な場所には置かない

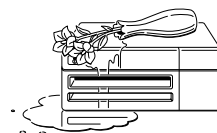
ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

落としたり、キャビネット(天板)を破損した場合は使わない

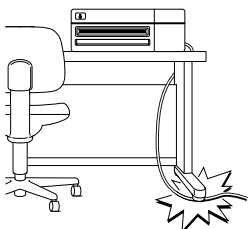
火災や感電の原因となります。

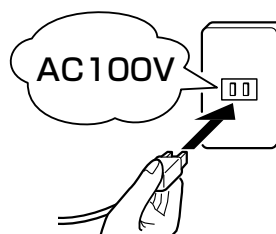
内部に異物を入れない

特にお子様にご注意を

用紙排出口や通風孔から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。

花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

- 重いものをのせない
- 引っ張らない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 加熱しない
- 加工しない

コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。
電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。

正しい電源電圧(交流100V)で使う

交流100V以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

水でぬらさない

火災や感電の原因となります。
雨天時の窓辺での使用は、特にご注意ください。

付属のACプラグ2P変換アダプタを使用するときは確実に接地する

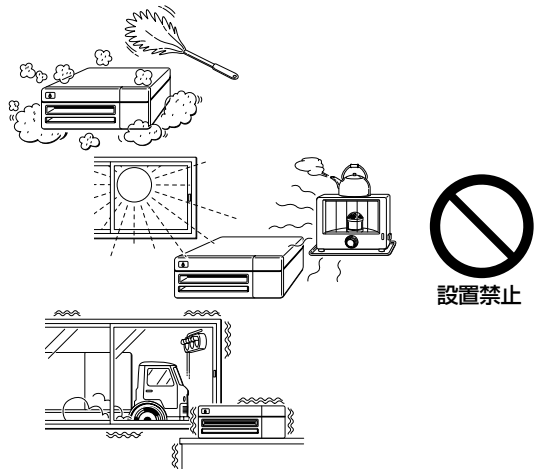
確実に接地する

確実に接地せずに使用すると、感電、火災、故障の原因となります。また、アース線と異電極との接触などにより、感電、火災、故障の原因となります。

⚠注意

設置時は、次のような場所には置かない

●湿気やほこりの多い場所
●風通しの悪い狭い場所
●油煙や湯気が当たる場所
●直射日光の当たる場所や熱器具の近くなど、高温になるところ
●硫化水素、酸化イオウなどが発生する場所
●振動がある場所

設置禁止

このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被膜が溶けるなどにより、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

●風通しの悪い狭い場所に置かない
●テーブルクロスなどをかけない

禁止

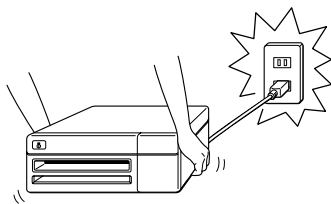
通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

本機の上に重いものを置いたり、本機の上にのらない

特にお子様にご注意を

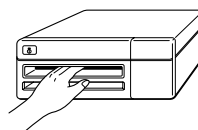
禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

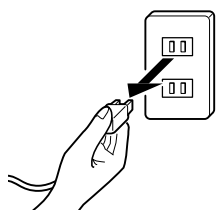
接続したまま本機を移動させない

禁止

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続機器とのケーブルをはずしたことを確認してから移動させてください。

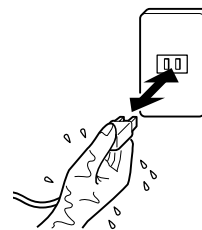
プリント用紙排出口に手を入れない

特に小さなお子様にご注意を

禁止

プリント用紙排出口内部には用紙を切るためのカッターがついていますので、手を切るなどのけがの原因となることがあります。

電源プラグを持って抜く

プラグを持つ

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

⚠注意

プリンティングユニットを引き出したままにしない

禁止

ユニットを引き出したまま本機を動かすと、ユニットが引き戻され、けがや故障の原因となることがあります。

プリンティングユニットは確実に押し込んで閉じる

禁止

本機を動かしたときに、ユニットが引き出され、けがや故障の原因となることがあります。

本機内部のサーマルヘッドには触れない

接触禁止

高温になっている場合があるため、触れるとやけどやけがの原因となることがあります。

紙づまりの処置の際は、取扱説明書で指定している場所以外には触れない

接触禁止

内部には高温の部分があり、触れるとやけどの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく

プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う

プラグを抜く

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する

ほこりを取る

ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。
１年に１回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

５年に一度は内部の掃除を依頼する

内部掃除

販売店にご依頼ください。
内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。
内部掃除費用については、販売店にご相談ください。

日本国内専用です

日本専用

信号方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。
This DIGITAL COLOR PRITER set can not be used in foreign country as designed for Japan only.

使用上のお願い

露付きが起こった場合は
（本機の内部に水滴がつくことを露付きといいます）

●露付き状態で本機を使用すると、プリント用紙の表面に湿気や露が付き、印画品質の低下や紙づまりの原因となります。露付きが起こりそうなときは、電源を入れて 2 時間以上おいてからご使用ください。
プリント用紙が装着されているときは、取り出してから電源を入れてください。

●露付きは次のようなときに起こります。
・部屋を急激に暖房したとき
・エアコンなどの冷風を直接当てたとき
・本機を寒いところから暖かいところに移動させたとき

●露付きしたプリント用紙は正常にプリントできない場合がありますので、新しい用紙と取り替えてください。

接続機器、接続ケーブル

●本機に接続して使用する機器の取扱説明書に記載されている「使用上のご注意」をよくごらんください。

●接続ケーブルは指定のものをご使用ください。

プリント中は

●本機を動かしたり、前面ドアを開けたりしないでください。プリント不良の原因となります。

●プリント用紙を引っ張らないでください。プリント不良やエラーの原因となります。

置き場所、取扱い

●水平においてください。傾いた状態や不安定な場所で使用すると、本機に悪い影響を与えます。

●殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

●周囲温度は5℃～40℃(プリカットシール紙使用時は5℃～35℃)、湿度は20%～80%でお使いください。本機をシステムラックに組み込んだときは、ラック内の温度、湿度も上記の範囲でお使いください。

●本機の上に重いものを載せないでください。キャビネットを傷めたり、故障の原因となります。

●プリンティングユニットを引き出したときは、ユニットを押さえつけないでください。故障やプリント不良の原因となります。

プリント用紙、インクカセット

●プリント終了後、ペーパーが紙出口に出てきたら、そのままにしておかず 1 枚ずつ取り出してください。そのままにしておくと紙づまりの原因となります。

●プリント用紙やインクカセットに付着したゴミやホコリ、あるいは低・高温時における変形等のためプリント画の中に微妙な色抜けや色ムラ、スジ、シワが発生することがあります。

電源を切るときは

●プリント終了後に切ってください。プリント中に電源を切ると、プリントが中断し、紙づまりの原因となります。

お手入れ

●前面パネル部分の汚れは柔らかい布でふいてください。

●汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよくしぼって汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。

●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

●ベンジン、シンナーなどの溶剤は、使わないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

引っ越しや輸送のときは

●インクカセットおよびプリント用紙を取り出してから梱包してください。
梱包前にプリンティングユニットロックスイッチをロックして、プリンティングユニットを固定してください。

サーマルヘッドの磨耗と交換

●サーマルヘッドは磨耗します。サーマルヘッドが磨耗すると鮮明な画像がプリントできなくなることがあります。このような場合はサーマルヘッドの交換が必要です。
サーマルヘッドの交換は販売店にご相談ください。

著作権

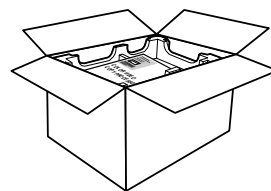
●ご自身が制作、撮影した映像以外からのプリントは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

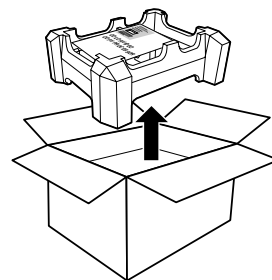
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

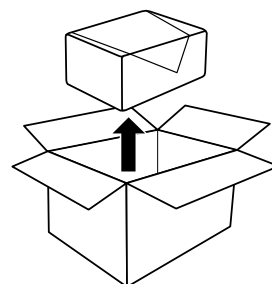
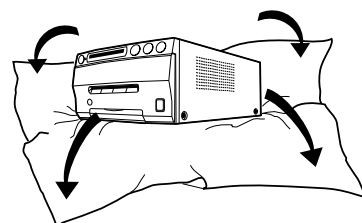
本機を使用中に万一発生した故障等の不具合によりプリントされなかった内容の補償についてはご容赦願います。

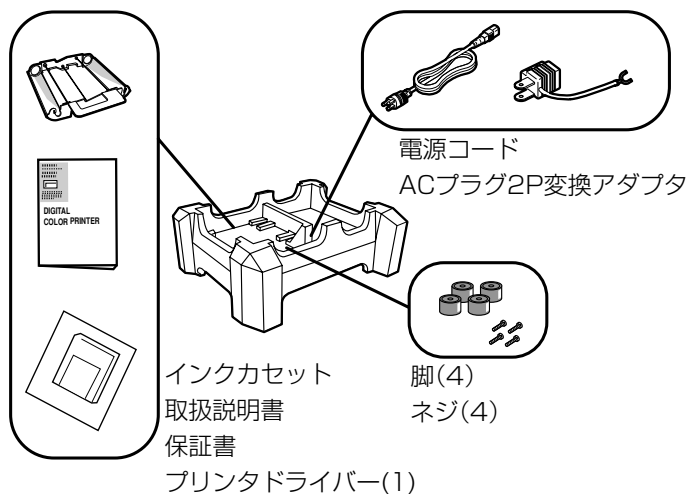
開梱

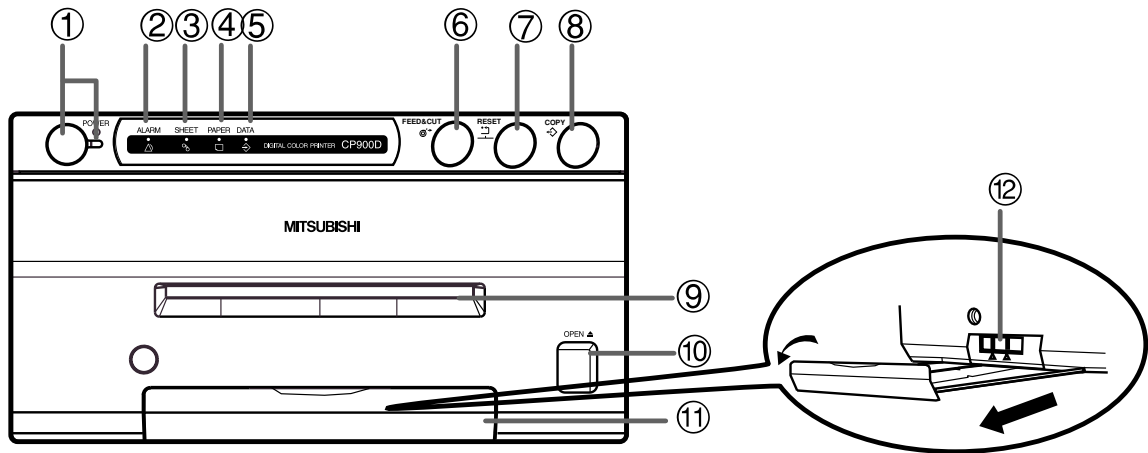
プリンタは下記の手順で箱から取り出してください。付属品はそろっているか、あわせて確認してください。

1 箱を開けます。

2 付属品をのせたクッションを取り出します。

付属品を落とさないように気を付けてください。

3 プリンタを取り出します。

水平に取り出してください。

4 包装をとり除きます。

■ 付属品

クッションの上に入っています。内容を確認してください。

各部の名称とはたらき

前面

① POWER（パワー）ボタン（インジケータ）
電源のON/OFFに使います。ボタンを押す度にON / OFFが切換ります。電源が入ると、インジケータが点灯します。

② ALARM（アラーム）インジケータ
本機がオーバーヒートしたときに点滅します。また、その他のエラーが生じたときにインジケータが点灯します。

③ SHEET ERROR（シートエラー）インジケータ
インクシートに関するエラーが起こったときインジケータが点灯または点滅します。

④ PAPER ERROR（ペーパーエラー）インジケータ
プリント用紙に関するエラーが起こったときインジケータが点灯または点滅します。

⑤ DATA（データ）インジケータ
データ転送中にインジケータが点滅します。プリント中またはフィード&カット後プリントを再開するときはインジケータが点灯します。

⑥ FEED & CUT（フィードアンドカット） ボタン
このボタンを押すと、プリント用紙が一定幅送り出された後、切断されます。また、本機の機械的な位置が初期化されます。

⑦ RESET（リセット） ボタン
このボタンを押しながら⑥FEED&CUTボタンを押すと、連続プリント枚数が" 1 "になります。

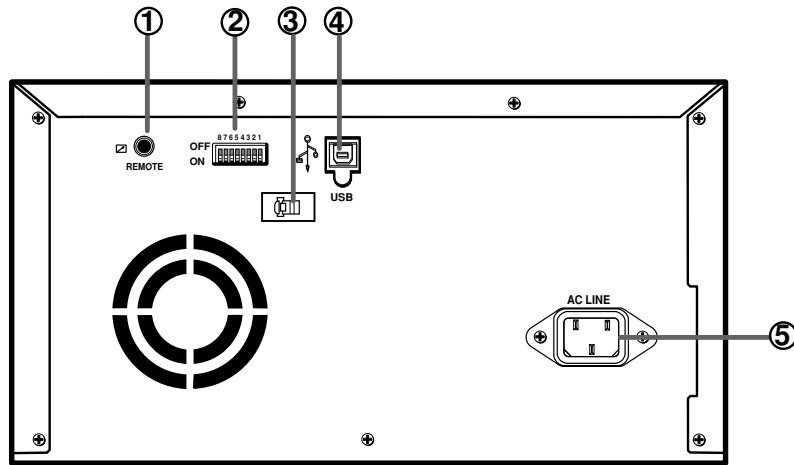
⑧ COPY（コピー） ボタン
本機にメモリされているデータがある場合、このボタンを押すと、そのデータがプリントされます。

⑨ プリント出口
プリントされた用紙の出口です。
出口の前にものを置かないでください。

⑩ OPEN（オープン） ボタン
押すとプリンティングユニット全体が押し出されます。⑫プリンティングユニットロックスイッチのロックが解除されていることを確認してください。押しても引き出せないときは、電源を入れ直してからOPENボタンを押してください。
プリンティングユニットはインクカセットやプリント用紙を入れるとき、または紙づまりの処理をするときに引き出します。

⑪ トレイ
プリント出口から出てきたプリント用紙を受けます。取っ手部分を引っ張るようにしてトレイを引き出します。本機を使用する前にトレイを引き出しておいてください。

⑫ プリンティングユニットロックスイッチ
プリンティングユニットをロックします。
スィッチを左にするとロックし、右にすると解除されます。
出荷時にはロックされています。本機を運ぶときはロックにしてください。

後面

① REMOTE（リモート） 端子（ステレオジャック）

この端子は、サービスマン以外は使用しないでください。

② MODE（モード）スイッチ

本機の機能の設定を行います。
設定については14ページをごらんください。

③ USB（ユーエスビー） ケーブルクランパ

USBケーブルがはずれないように、このクランパで保持します。

④ USB（ユーエスビー） 端子

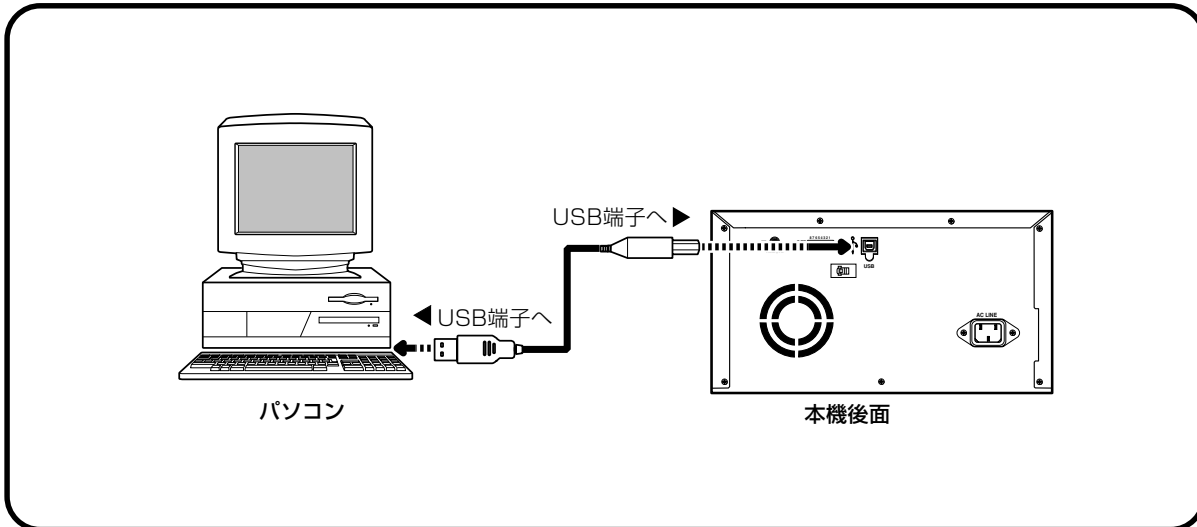
USBケーブルを接続します。
設定については14ページをごらんください。

⑤ AC LINE（ライン） ソケット

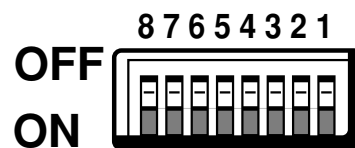
付属の電源コードを接続するソケットです。
確実に接続してください。

USBインターフェイスとの接続

■ パソコンと接続する（例）

本機とパソコンを以下のように接続します。

モードスイッチの設定

■ モードスイッチを設定する

本機後面のモードスイッチを接続するパソコンに合わせて設定します。
出荷時はすべてOFFに設定されています。
設定を変更するときは、本機の電源をオフにしてください。

スイッチNo. 1とNo.2でプリント速度を設定します。

スイッチNo.		プリント速度
1	2	
OFF	OFF	プリンタドライバーでの設定による
ON	ON	
OFF	ON	FINEモードでプリント
ON	OFF	FASTモードでプリント

スイッチNo.3からNo.8で、以下の設定をします。

スイッチNo.	設定	機能
3	OFF	通常のガンマカーブを使用する
	ON	超音波診断装置やモノクロ画像機器に最適化したガンマカーブを使用する
4	OFF	通常プリント
	ON	画像を反転してプリント(ミラープリント)
5	OFF	表面保護コーティングプリント
	ON	表面保護コーティングなしでプリント
6	OFF	使用しない(OFFにしてください)
7	OFF	用紙がプリント出口に残っている場合、PAPERインジケータが点滅し、プリント動作を中断する
	ON	用紙がプリント出口に残っていても、PAPERインジケータは消灯したままで、プリント動作を中断しない
8	OFF	オートフィード&カットモード 電源ONの状態でプリント用紙またはインクカセットを挿入後、プリンティングユニットを閉じると自動的にフィード&カットを2回実施する
	ON	マニュアルフィード&カットモード

ご使用前の準備

プリントする前に次の準備をしておきます。

1 プリンティングユニットのロックを外します。（下記）

2 プリント用紙とインクカセットを入れます。(15〜17ページ)

ペーパーシートセット

本機でプリントされる場合は必ず下記の専用品をお使いください。

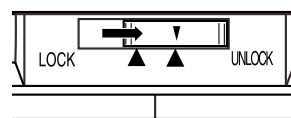
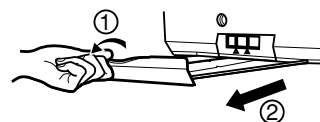
■ ペーパーシートセット

品名	インクシートサイズ	プリント数	用途
CK900S	Sサイズ	200 枚	カラープリント用
CK900L	Lサイズ	130 枚	カラープリント用
CK900S4P	Sサイズ	130 枚	表面保護コーティングカラープリント用
CK900L4P	Lサイズ	90 枚	表面保護コーティングカラープリント用

プリンティングユニットのロック解除

■ プリンティングユニットロックの解除のしかた

1 取っ手部分を引っ張るようにしてトレイを引き出します。

2 プリンティングユニットロックスイッチを右(UNLOCK)に動かします。(12ページ参照)

プリント用紙の入れかた

プリント用紙のシールはまだはがさないでください。

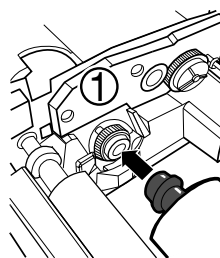
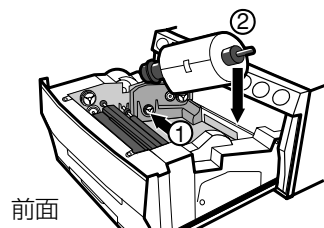
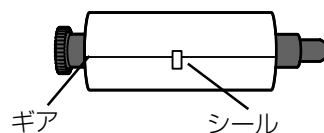
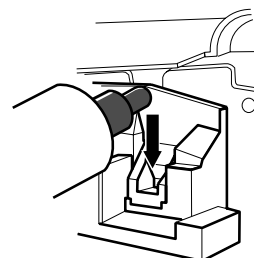
1 ギアのついている部分を左側にしてプリント用紙のローラーを入れます。
右図のようにフォルダー①を押して、プリント用紙のローラーをはめ込みます。

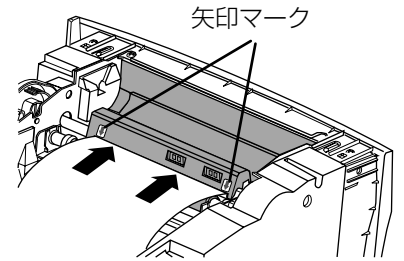
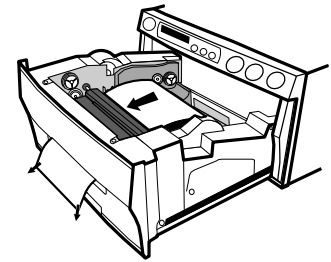
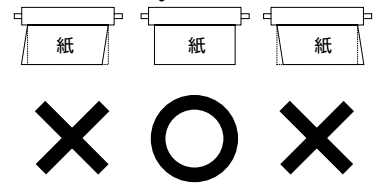
ギア　シール

前面

2 ギアのついていないほうを反対(右)側にはめ込みます。

左側

右側

3 **シールをはがし、プリント用紙の先端を矢印マークのついたローラーカバーの真下から前面に向けて差し込みます。**

このとき、プリント用紙が斜めに入らないようにします。

4 **プリント出口からプリント用紙が出てくるまで用紙を手で送り出します。**

5 **プリント用紙の両端を手で引っぱり、たるみを取ります。**

インクシートの入れかた

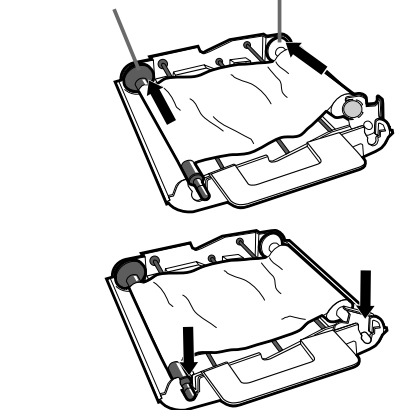
■ インクシートの組込み

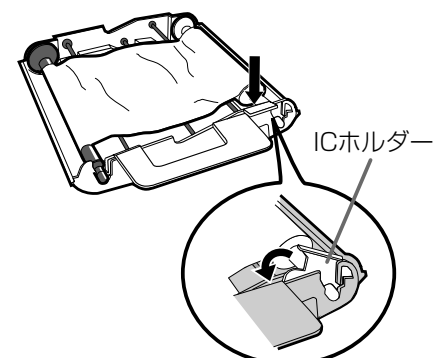
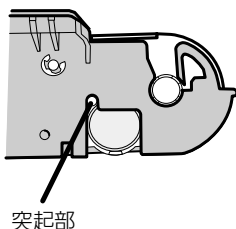
本機にインクカセットを装着する前に、別売のインクシートをインクカセットに組込んでください。

1 **インクシートローラーの先が平らなほうをインクカセットの穴に差し込みます。**

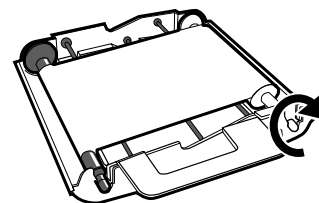
まず白いローラー(インクシートが巻かれているほう)をインクカセットに差し込みます。次に色のついたローラー(インクシートが巻かれていないほう)をインクカセットに差し込みます。

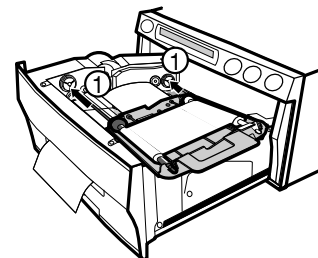
2 **ローラーの反対側をインクカセットに差し込みます。このときICをセットします。**

ICチップはICホルダーに組み込まれた状態でインクシートについています。右図のようにICホルダーをインクカセットにはめてください。

お知らせ

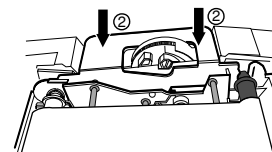
- ○ インクシートからICチップまたはホルダーを取り外さないでください。ICチップを取り外すとプリントができなくなります。
- ○ ICホルダーの突起部を下図のように正しい位置にセットしてください。

■ インクカセットの装着

1 インクシートのたるみを取ります。

色のついたローラーを押さえて、白ローラーを回します。

2 インクシートの入ったインクカセットを収納部に入れます。

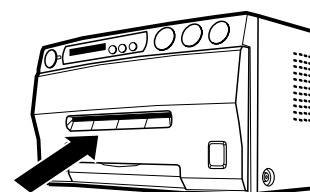
インクカセットの軸側を①に差し込みます。反対側のハンドルのついているほうを右図のようにはめ込みます。インクカセットを交換するときなどは、ハンドルを持って取り外してください。（22ページ参照）

■ プリンティングユニットを収納する

1 プリンティングユニットをカチッと音がするまで押し込みます。

2 本機の電源プラグをコンセントに差した後、前面のPOWERボタンを押して電源を入れます。

3 FEED & CUTボタンを押します。

プリント用紙が約１０cm送り出された後、裁断されます。

4 3をもう１～２回行います。

（この動作は初期化動作で、プリント用紙装着時に指紋やごみが付いた部分を取り除くためのものです。またプリント準備のために、機械的な位置が初期状態に戻ります。）

お知らせ

○ 紙送り操作は、２～３回程度にしてください。プリント用紙は余裕を持って準備されて いますが、繰り返し紙送りすると、所定の枚数分のプリント（15ページ参照）ができなくなる場合があります。

プリント用紙とインクカセットの装着は以上で完了です。

お知らせ

ICはインクシートについています。
ICチップはボタン電池と似ていますが、電池ではありません。このICは普通のゴミとして捨てることができます。

お知らせ

プリントされた用紙は一枚ごとに取り出してください。
また、紙詰まりの原因となりますので、トレイを不完全に収納した状態でプリントをしないでください。

プリント用紙の取扱い

■ プリント前の取扱い

● プリント用紙の表面に指紋やゴミ等が付いた場合、印画品質の低下や紙づまりの原因になる場合があります。また、プリント用紙交換直後のプリント画2枚は、手のゴミや脂等により部分的にプリントできないことがあります。（16~17ページ参照）

● 本機を低温の場所から高温の場所へ急に移動した場合、紙の表面に湿気または露が付き、印画品質の低下や紙づまりの原因になることがあります。このような場合には、本機をしばらく室内に放置してからご使用ください。

● プリント中にプリント用紙やインクシートがなくなった場合はプリント動作が停止し、前面のSHEETまたはPAPERエラーインジケータが点灯または点滅しますので、、新しいインクシートとプリント用紙をセットしてください。（20ページ参照）

■ プリント後の取扱い

● プリントされた紙を湿った手で触ると、変色することがあります。

● 紙が揮発性有機溶剤（アルコール・エステル・ケトン類など）を吸収すると、画像が退色します。

● セロテープ、軟質塩ビなどに密着させると、化学反応で退色が早くなりますのでご注意ください。

● プリント後の紙は、なるべく直射日光など強い光の当たらない湿度の低い場所で保管してください。

■ プリント用紙の保管

● 軟質塩ビなどのフォルダーに保管しないでください、化学反応で脱色します。

● プリント用紙は直射日光や暖房器具のそばを避け、温度5℃～30℃以下、湿度20％～60％ＲＨの冷暗所で保管してください。

プリンタドライバーのインストールについて

■ 接続したパーソナルコンピュータのデータを本機でプリントするためには、プリンタドライバーが必要です。
本機にはWindows®が動作するコンピュータ用のプリンタドライバーが同梱されています。

プリンタドライバー名	動　作　環　境
CPD900JW	Microsoft® Windows® 98、Windows®Me日本語版上で動作可能
CPD900JN0	Microsoft® Windows® 2000、Windows XP®日本語版上で動作可能

■ プリンタドライバーのインストール方法等、くわしくは同梱のフロッピーディスクに入っているReadMeをごらんください。

■ ReadMeの参照方法

1 **フロッピーディスクをパソコンに入れます。**

2 **フロッピーディスクアイコンをダブルクリックします。**

3 **ReadMeJ.TXTファイルまたはReadMeJ.pdfファイルをダブルクリックします。**
ReadMeJ.pdfファイルを見るためにはAdobe社のAcrobat Readerが必要です。Acrobat ReaderはAdobe社のWeb site (http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/より無償配布)からダウンロードできます。

4 **上記ファイルの指示に従ってプリンタドライバーのインストールを行ってください。**

● Microsoft® Windows® 98、Windows®Me、Windows® 2000とWindows XP®は米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
● Adobe及び AcrobatはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の登録商標です。

トラブルシューティング

前面インジケータの表示と処置

本機がプリントできなくなったり、プリント中にエラーが生じた場合は本機前面のインジケータが点灯または点滅し、エラーを知らせます。この場合は下表を参考に処置を行ってください。

○：点灯　☼：点滅　●：消灯

ALARM	SHEET	PAPER	DATA	原因	処置
●	●	○	●	プリント用紙が終了した。 プリント用紙が装着されていない。	新しいプリント用紙を装着してください。 15～16 ページをごらんください。
●	☼	●	●	インクシートが終了した。 ICが装着されていない。 ICチップのデータが正しく読みとれない。 ICとインクシートの組み合わせが正しくない。 誤ったICチップまたはインクシートが装着されている。	新しいインクシートを装着してください。16～17ページをごらんください。 付属のICチップを装着したインクシートを使用してください。 インクシートに付属のICチップを装着してください。 正規のインクシートにICチップを装着して使用してください。 正しい組み合わせで使用してください。
●	○	●	●	インクカセットが装着されていない。	インクカセットを装着してください。16～17ページをごらんください。
●	☼	☼	●	インクシートとプリント用紙の組み合わせが正しくない。	正しい組み合わせで使用してください。
☼	●	●	●	サーマルヘッドの温度が高くなった。	ALARMインジケータが消灯するまでしばらくお待ちください。*注
●	●	☼	●	プリント出口に用紙が残っている。	プリント用紙を取り除いてください。
○	●	○	○	紙詰まりが発生した。	紙づまりの処置22ページをごらんの上、処置してください。 FEED&CUTボタンを押してください。
○	●	●	●	その他のエラー。	FEED&CUTボタンを押してください。 紙づまりの場合がありますので、紙づまりの処置22ページをごらんの上、処置してください。それでも改善されない場合は、販売店にご相談ください。

*注　連続プリントを設定中の場合は、インジケータ消灯後プリントを再開します。

修理を依頼する前に

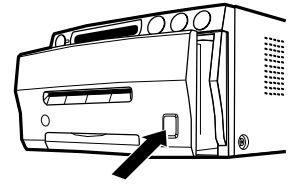
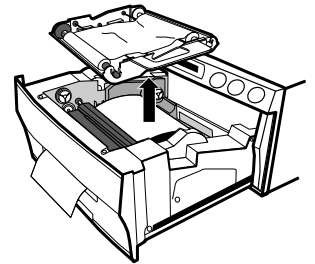
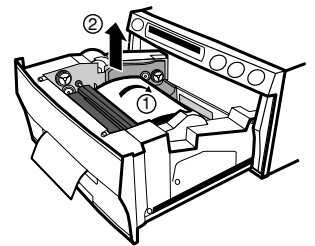
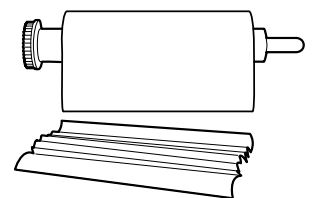
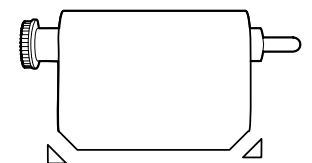
以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

症　状	原 因 / 処 置
電源が入らない (POWERランプ消灯時)	電源プラグがコンセントからはずれていませんか？ → 本機のプラグを電源コンセントに差し込んでください。 電源を OFF にして約2分間お待ちください。その後電源を ON にしてください。
プリントできない	プリントする画像をデータ転送していますか？ プリント用紙、またはインクシートが終了していませんか？ プリンティングユニットは確実に押し込まれていますか？ → 再確認してください。
用紙いっぱいにプリントできない	サイズに合った画像データを転送していますか？ Lサイズの用紙にSサイズの画像データを転送していませんか？ → 再確認してください。
COPYボタンが効かない	画像を転送していますか？ → 画像を転送してください。 画像転送後本体電源を一度OFFにし再度ONにすると、COPYボタンは効きません。
プリント出口に用紙が残っていないのに、PAPERインジケータが点滅し、DATAインジケータが点灯する。	→ 紙残り検知センサーが赤外光などによって誤動作している可能性があります。 本体後面のモードスイッチの7番をONに設定してください。

紙づまり等の処置

処置のしかた

1 OPENボタンを押して、プリンティングユニットを引き出します。

OPENボタンを押しても引き出せないときは、電源を入れ直してからOPENボタンを押してください。

2 インクシートの入ったインクカセットを外します。

3 右図のようにプリント用紙を取り外します。

4 プリント用紙の、しわになっている等の不良部分をはさみで切り取ります。

5 プリント用紙の両先端を切り取ります。

6 プリント用紙を装着します。（15～17 ページ 参照）

クリーニングについて

本機を長期間安定してお使いいただくために、以下の手順で本機内部をクリーニングしてください。

準備するもの
アルコール(イソプロピルアルコール)
ティッシュペーパー(半分ずつ4回ほど折り、折った面を清掃面にします。)
綿棒
専用クリーニングキット(別売)

クリーナーペン(別売)

その他、別売のクリーナーペンがあります。
別売品についてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

クリーニングの前に必ず電源をOFFにしてください。

1 OPENボタンを押して、プリンティングユニットを取り出します。

2 インクカセットとプリント用紙を取り出します。

3 インクシートセンサを拭きます。

右の図に示されている部分を拭きます。
綿棒などにアルコールを少量しみこませて軽くホコリをふき取ってください。

4 インクシート反射板を拭きます。

金属反射板部分を拭きます。
ティッシュペーパーなどにアルコールを少量しみこませて軽くていねいにふき取ってください。

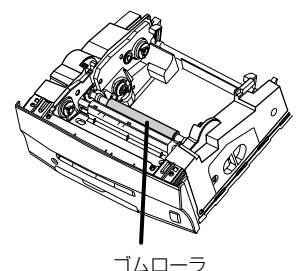
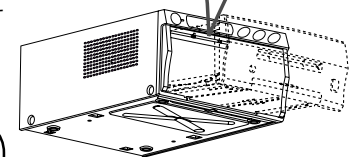
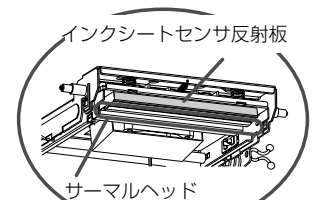
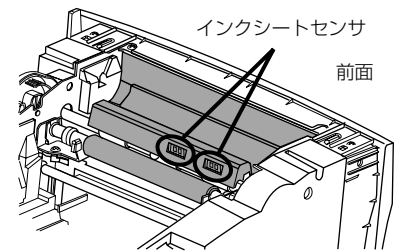
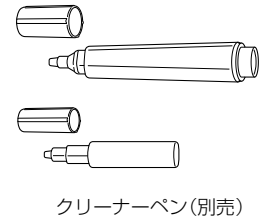
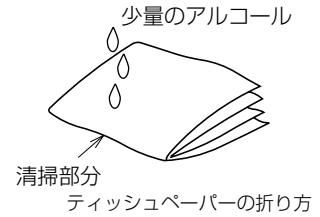
5 ヘッドを拭きます。

サーマルヘッド下面にある、発熱体部分を拭きます。
ヘッド清掃部をティッシュペーパーなどにアルコールを少量しみこませて軽くていねいにふき取ってください。

お知らせ

- ○ サーマルヘッドに傷をつけないようにご注意ください。
- ○ クリーニングしてもプリント画質が改善されない場合はサーマルヘッドの交換が必要です。くわしくは販売店にご相談ください。
- ○ プリント直後のサーマルヘッドは高温になっている場合がありますので、クリーニングする場合はヘッドの温度が下がるまでしばらくお待ちください。

6 ゴムローラを拭きます。

長期間ご使用になると、ゴムローラ部にシール紙の粘着剤やホコリ等が付着します。ティッシュペーパー等にアルコールを少量しこませ軽くていねいにふき取ってください。

仕様と別売品

仕様

種類	デジタルカラープリンタ
形名	CP900D
プリント方式	昇華染料熱転写フルカラー方式　　3 色面順次印画（イエロー、マゼンタ、シアン）
印画品質	プリント画素数　Sサイズ　1280 ×　960ピクセル 325PPI　　Lサイズ　1676 ×1280ピクセル　　PPI : Pixel Per Inch
階調数	256階調　（8ビット　約1670万色）
印画時間	Sサイズ時：　約12秒/画面　（表面保護コーティングなし） Lサイズ時：　約18秒/画面　（表面保護コーティングなし）
印画シート	専用インクシート方式
プリント用紙	専用ロール用紙　Sサイズ　110mm×105mm　印画サイズ　100×75mm Lサイズ　162mm×110mm　印画サイズ　131×100mm
給紙方法	自動給紙(ロール紙)
インターフェイス	USB Ver. 1.1
電源	AC100V 50/60Hz
消費電流	印画時2.3A　（待機時　0.4A）
使用環境条件	温度5° C～40° C　　湿度20%～80% RH (結露なし)
設置条件	動作姿勢水平 ± 5°
外形寸法・質量	幅280mm×高さ150mm×奥行400mm　11kg
付属品	電源コード（1 本）、A C プラグ2 P 変換アダプタ（1 個）、保証書（1 冊）、取扱説明書（本書）、 脚(4個)、ネジ(4本)、インクカセット(1個)、プリンタドライバー(1枚)

別売品

■ プリント用紙 + インクシート

品名	インクシートサイズ	プリント数	用途
CK900S	Sサイズ	200 枚	カラープリント用
CK900L	Lサイズ	130 枚	カラープリント用
CK900S4P	Sサイズ	130 枚	表面保護コーティングカラープリント用
CK900L4P	Lサイズ	90 枚	表面保護コーティングカラープリント用

保証とアフターサービス

保証書(別添付)

◎保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。
◎保証書の記載内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、デジタルカラープリンタの補修用性能部品を、製造打切り後最低8年間保有しています。
(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

修理・取扱い・お手入れなどのご相談は、お買上げの販売店へお申し付けください

修理を依頼されるときは

「修理を依頼する前に」をよくごらんになって、今一度お調べください。
それでも異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

◎保証期間中は
- 修理の際には、保証書をご提示ください。
- 保証の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

◎保証期間が過ぎているときは
- 修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理いたします。

◎修理料金は
- 修理技術料＋部品代(＋出張料)で構成されています。

■ INTERNET INFORMATION ■ **この製品に関する詳細情報、使用応用例などを、wwwサーバでもご提供しています。**

http://www.vcp.melco.co.jp/

技術的なお問い合わせは三菱カラープリンタテクニカルセンターへ。

0120-710-391 (フリーダイヤル)

受付時間/AM9:00〜12:00・PM1:00〜5:00
(土、日、祭日を除く)

FAX 075-325-4195 E-mail pep-m@mbox.kyoto-inet.or.jp

愛情点検 ●長年ご使用のデジタルカラープリンタの点検をぜひ!

(熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。)

このような症状はありませんか	●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●コゲくさい臭いがする。 ●製品に触れるとビリビリと電気を感じる。 ●電源スイッチを入れても、映像が出ない。 ●その他の異常・故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

デジタルカラープリンタの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

京都製作所 〒617-8550 京都府長岡京市馬場図所1番地

871C593A3